

令和8年度練馬区立開進第一小学校 学校経営の基本方針（令和8年4月6日版）

教育目標 ともに生きる ○かしこい子 ○やさしい子 ○たくましい子 を達成するために以下の三つの学校づくりを進めます。

目指す学校像	A 子供が授業や行事で資質・能力を身に付け、友達と関わりたいと思い、「今日☺楽しかった、明日☺学校に行きたいな！」と思える学校	B 保護者・地域が学校の実情をよく理解し、「協力したい。」「応援したい。」と思い、三者一体となってよい教育活動が展開できる学校	C 教職員が心身共に健康で生き生きと働き、本校の教職員であることに誇りと使命感をもっている学校
基本方針	①教科担任制のメリットを生かしつつ学習用タブレット端末を有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と、主体的・対話的で深い学びの実装を図り、子供に資質・能力が確実に身に付く授業を行う。	①ホームページの随時更新、学校関係者評価、授業公開、学校行事等あらゆる機会を通じて、広く学校の取組を周知し、理解していただく。	①教員の働き方改革を推進する。在校時間の把握と業務改善、会議回数削減と時間短縮（ICTを有効活用）、学校・教員の負担軽減（業務の適正化・明確化）等を行う。
	②長寿命化工事の中で形態が変わっても教育的効果の大きい学校行事を継続して行う。行事の練習や準備から本番まで、あきらめない心、目標に向かって努力する姿勢、団結力、創造性、達成感などを育てていく。	②PTA、地域コーディネーターと連携し、保護者・地域人材を学校の教育活動の中に積極的に登用する。地域の教育力を生かす。	②主任教諭の力を生かした、OJT（職場にしながら研修できるシステム）を活性化させる。主任教諭が講師のミニ研修会を行うとともに、主幹教諭と連携し組織的なOJTを行う。
	③いじめ・差別・仲間外れ等の未然防止、早期解決を図り、子供たち一人一人が他者を大切な存在として受け止め、友好的人間関係を築けるようにする。その中で、子供一人一人の自己肯定感・自己有用感を高める。	③学校から地域に出かける教育活動を多く展開し、地域の教育材・資源から学ぶ機会を設け、子供の深い学びにつなげる。	③取り組んで表れた成果を大いに褒め、評価する。やったことがきちんと管理職・同僚に認められるようにする。そのために皆の前で褒める、個別に褒める。教職員の自己肯定感・自己有用感も高める。

学校経営を支える前提となるもの

攻めの防災・児童の安全第一

教職員のサービスの厳正

特別支援教室拠点校の強み